

1 議 事 日 程

〔平成24年太宰府市議会 決算特別委員会〕

平成24年 9 月20日

午前 10 時 00 分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 平成23年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について
- 日程第2 認定第2号 平成23年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第3 認定第3号 平成23年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第4 認定第4号 平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第5 認定第5号 平成23年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について
- 日程第6 認定第6号 平成23年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
- 日程第7 認定第7号 平成23年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

2 出席委員は次のとおりである（18名）

委員長	門 田 直 樹 議員	副委員長	佐 伯 修 議員
委員	陶 山 良 尚 議員	委員	神 武 綾 議員
〃	上 疆 議員	〃	芦 刈 茂 議員
〃	小 畠 真由美 議員	〃	長谷川 公 成 議員
〃	藤 井 雅 之 議員	〃	原 田 久美子 議員
〃	後 藤 邦 晴 議員	〃	橋 本 健 議員
〃	不 老 光 幸 議員	〃	渡 邊 美 穂 議員
〃	小 柳 道 枝 議員	〃	村 山 弘 行 議員
〃	福 廣 和 美 議員	〃	大 田 勝 義 議員

3 欠席委員は次のとおりである

な し

4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（27名）

市 長	井 上 保 廣	副 市 長	平 島 鉄 信
教 育 長	關 敏 治	総 務 部 長	木 村 甚 治
地域づくり 担 当 部 長	今 泉 憲 治	市民生活部長	古 川 芳 文
健康福祉部長	坂 口 進	建 設 部 長	神 原 稔
会計管理者併 上下水道部長	三 笠 哲 生	教 育 部 長	古 野 洋 敏
総 務 課 長	友 田 浩	経営企画課長	石 田 宏 二
協働のまち 推 進 課 長	藤 田 彰	市 民 課 長	原 野 敏 彦
納 税 課 長	高 柳 光	人権政策課長兼 人権センター所長	諫 山 博 美

福祉課長	大 薮 勝 一	高齢者支援課長	平 田 良 富
保健センター所長	中 島 俊 二	国保年金課長	永 田 宰
都市整備課長	今 村 巧 児	上下水道課長	松 本 芳 生
施設課長	加 藤 常 道	教 務 課 長	井 上 均
生涯学習課長	木 原 裕 和	会 計 課 長	緒 方 扶 美
監査委員事務局長	関 啓 子		

5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（４名）

議会事務局長	齋 藤 廣 之	議 事 課 長	櫻 井 三 郎
書 記	花 田 敏 浩	書 記	力 丸 克 弥

再開 午前10時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（門田直樹委員） 皆さん、おはようございます。

ただいまから休会中の決算特別委員会を再開します。

生涯学習課長。

○生涯学習課長（木原裕和） 昨日、芦刈委員さんのご質問に対しまして、ただいまからご説明を申し上げたいと思います。

一般会計歳入、46ページから47ページをごらんくださいませ。

13款使用料及び手数料、1項使用料、8目教育使用料、少年スポーツ公園の使用料でございます。少年スポーツ公園の自動販売機等設置使用料についてご説明を申し上げます。

平成22年度までは、使用料に電気代を含めて計上いたしておりましたが、平成23年度から使用料と電気代に分けて計上いたしましたことから、前年度と差が生じたということになっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 芦刈委員、よろしいですか。

○委員（芦刈 茂委員） はい。

○委員長（門田直樹委員） それでは、本日は特別会計からです。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 認定第2号 平成23年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第2、認定第2号「平成23年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

お諮りします。

特別会計については、事項別明細書の歳入から審査に入りたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 異議なしと認めます。

直ちに審査に入ります。

280ページ、1款国民健康保険税から入ります。

質疑はありませんか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 資料の18ページで資料要求させていただきました、昨日市税のところでも同じ質問をいたしました還付未済額の未済の件ですけど、この国民健康保険も非常に件数が多いんですが、昨日市税のほうは督促状を出した後にさらにまた電話等でお知らせをするというような回答をいただきましたが、国保のほうは今どのような考え方でおられるんでしょう

か。

○委員長（門田直樹委員） 納税課長。

○納税課長（高柳 光） 国保についても市税と同様の考えでやっていきます。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。いいですか。

○委員（渡邊美穂委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 渡邊委員の今の質問と関連するところもあるかと思うんですけども、事務報告書の60ページのところにですね、滞納繰越処分の部分も載せていただいておりますが、それと合わせて審査資料のほうも要求させていただきましたが、審査資料の10ページのところにですね。所得200万円ごとの資格証の発行の状況ということで出していただきましたけれども、結局資格、所得200万円未満のところでは369世帯ですね。この資格証が発行されているという状況なんですけども、このこういったところへの対応策ですね。滞納の処分というのは当然いろいろ破産だったりとか、そういった部分があってこういった数字に出てきていると思うんですけども、この資格証を発行されている世帯への対応策というのは現状何かとられているのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（永田 宰） ただいまの資格証の369世帯出ているということで、納税が苦しい世帯については納税相談等をですね、していただくように発送時にも通知を差し上げておりまして、窓口ご相談にもそのようにさせていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 所得が結局200万円のところで、当然家族構成によっても世帯世帯の保険税の課税の状況が違うというのはある程度理解するんですけども、その所得が結局そういう状況の中で、今の課税の状況が適正といいますかね、もう結局払えなくなっているんじゃないかというのは何度も議会でも取り上げさせていただきましたけれども、今現在のこの資格証の発行の状況から見て、そういったところのご認識、いかがでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（永田 宰） 現状におきましては、低所得の増等がございますので、非常に苦しい状況というのは重々理解しております。保険税の軽減措置等もございますので、そういったものを適用させて運用させていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） わかりました。

○委員長（門田直樹委員） ほかに1款について質問はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） では、進みます。

282ページ、2款国庫支出金、1項、2項、285ページまでですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、284ページの3款療養給付費交付金、4款前期高齢者交付金、5款県支出金、287ページまでですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、286ページ、6款共同事業交付金、7款財産収入、8款繰入金、289ページまでですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、288ページ、9款繰越金、10款諸収入、ページは291ページ、もう最後までですが、これに関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは次に、歳出に入ります。

292ページ、それでは歳出の1款総務費、ページは295ページ、3項までですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 294ページの2款保険給付費、297ページ、299ページ、5項まで質疑はありませんでしょうか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 療養給付費の……。

○委員長（門田直樹委員） 何ページになりますか。

長谷川委員。

○委員（長谷川公成委員） 濟いません。295ページの2款1項1目、001療養給付費ですけども、やっぱりかなり高額というか、目立ってきております。一般質問でもさせていただきましたけども、やはりこれから団塊の世代の方々、高齢者の方々もですね、スポーツを通じてのそういった健康づくりをぜひとも考えていただいて、なるべくだったら病院に行かないような健康づくり、体力づくりを目指していただいて、ですので喫緊にですね、こういったトレーニング法とか、そういうのを話し合っていて、やはり横の連携も大事になってくると思いますので、前向きに検討をよろしくお願いします。回答はいいですので、これ要望、お願いですので、よろしくお願いします。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、298ページ、3款後期高齢者支援金等、301ページまでです

が、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、300ページの4款前期高齢者納付金等について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5款老人保健拠出金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、300ページ、一番下の6款介護納付金、303ページまでですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

302ページ、7款共同事業拠出金、305ページまでですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 304ページ、8款保健事業費、1項、2項、307ページまでですが、質疑はございませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 307ページですね、医療費適正化特別対策費についてお伺いいたします。

審査資料の44ページに要求しました追加資料を出していただいています。これは毎年お伺いしていますが、ジェネリック医薬品の普及の状況等のお願いカードを7万8,000円かけて印刷されて、あの保険証の発送時とかに対応されているというふうには思いますが、差額通知が出て、ここがどうなるかというようなことも、過去議会、この場の答弁でもいただいていますけれども、その後の検証、差額通知等を出してどういうふうになら認識されていますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（永田 宰） ジェネリック医薬品の差額通知につきましては、福岡県国保団体連合会、そちらのほうの電子化が進みまして、平成24年1月から300件抽出しましてご案内を差し上げるようにいたしております。月当たり30万円程度の減額につながっております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） 300件抽出という形でしたけども、これを今後ですね、国保の全世帯の方に広げていくというお考えはお持ちですか。300件抽出したというのは、あえてその300件にされた理由というのは何かあるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（永田 宰） ジェネリック医薬品につきましては薬剤費の切りかえによる削減で

ございますので、効果の高い方を300件抽出して続けております。医療費通知、別途2カ月に1度かかっております医療通知の裏面にもジェネリック医薬品の切りかえについてはお願いを印刷させていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） いいですか、関連。

福廣委員。

○委員（福廣和美委員） その300件というのは使い過ぎている人が300件。非常に気になるけど。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（永田 宰） 薬剤の点数の高い方、どうしても治療でかかる部分はあると思いますので、高い、効果の高い方から抽出して啓発のために送らせていただいております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 福廣委員。

○委員（福廣和美委員） ということは、だから医療費を使い過ぎようということだね。

（「率直に言ったらいいよ、そうですって」と呼ぶ者あり）

○委員（福廣和美委員） いやいや、率直に言ってもらっていいよ。自分もそうだろうと思いがら聞いているんだから。うちに毎回来てるからね。それはちょっとやっぱり考えて使わないかなかなと。考えて使っているんだけど、別に医療費を上げようと思って使っているわけじゃないんだけど、ジェネリックを使おうと通知が来てね、やっぱり50%レスになるんであればやっぱり使わにゃいかんなということですから、非常にあの藤井さんの提案からそうなったということは非常にいいことです。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか、回答は。いいですか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 前のページに戻って、1項の特定健診なんですけども、施策評価シートで受診率なんですけど、目標よりは低かったんですが、前年に比べて約3%伸びているということで、これからさらにいろんな方法を考えておられるのか、これは勧奨することによって約3%伸びたということなんですけど、国の基準からするとまだまだ随分低いという現状があるんですけれども、今後何か今年からまた新しくこういう方法でやってみようとかという方法があれば教えていただきたいと思います。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（永田 宰） 平成23年度につきましては回数も6回ほど増やしたり、受診勧奨を行いました。その結果、伸びたものと思っております。

今後につきましては、未受診者への受診勧奨をですね、引き続き行いまして、経過を見ながらですね、さらなる受診勧奨を行いたいと考えております。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） その受診勧奨はやはり文書でしょうか。それとも、例えば電話とか、そういう方法も考えておられるのでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 国保年金課長。

○国保年金課長（永田 宰） 現状は文書で、お留守のときとかもありますので、文書でお送りしておりますし、状況を見て判断してまいりたいと思います。電話等もですね、工夫を重ねていきたいと思っております。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、306ページ、9款基金積立金に関して質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 10款公債費、ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 11款諸支出金、309ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、12款予備費、質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、308ページの13款前年度繰上充用金、質疑はありませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、310ページ、実質収支に関する調書について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑は終わります。

それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第2号「平成23年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第2号については認定すべきものと決定しました。

(認定 賛成17名、反対0名 午前10時15分)

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 認定第3号 平成23年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長(門田直樹委員) 日程第3、認定第3号「平成23年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

314ページ、1款保険料から入ります。

質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款使用料及び手数料、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 3款繰入金、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、4款諸収入、317ページにかけてですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、5款繰入金、質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、歳出に入ります。

318ページ、1款総務費、321ページまでですが、質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、2款諸支出金に関してございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、3款予備費について質疑はございませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) それでは、以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、322ページ、実質収支に関する調書について質疑はありますか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 以上で質疑を終わります。

それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第3号「平成23年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第3号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時17分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 認定第4号 平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第4、認定第4号「平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

最初に、保険事業勘定から審査を行います。

328ページ、1款保険料から入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、2款国庫支出金、次のページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、330ページ、3款支払基金交付金に関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次の4款県支出金について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 5款財産収入について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 6款繰入金、333ページまでですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、332ページの7款繰越金、335ページまでですが、質疑はご

ございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、8款諸収入に関して質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、歳出に入ります。

336ページ、1款総務費、341ページまでですね。数ページにわたりますが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、340ページ、2款保険給付費、349ページまでですね。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、348ページ、3款地域支援事業費、355ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、354ページ、4款公債費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 5款諸支出金に関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 6款基金積立金、ページは357ページまでですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 7款予備費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、358ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で保険事業勘定についての質疑を終わります。

次に、介護サービス事業勘定に移ります。

362ページ、1款サービス収入から入ります。

1款について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2款繰入金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 3款繰越金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 4 款諸収入について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、364ページ、歳出に入ります。

1 款総務費に関して質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2 款諸支出金について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 3 款予備費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、366ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で介護サービス事業勘定についての質疑を終わります。

それでは、再度、保険事業勘定、介護サービス事業勘定の歳入歳出全般についての総括的な質疑はありませんか。

渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 済いません。一般会計のほうとちょっと関連して聞きたいんですけども、337ページのですね、介護保険事業計画の策定委託料で352万8,000円が出ているんですが、これは一般会計のほうで九州大学に委託されていた129ページに計上されている介護予防対策に関する調査研究委託料というのがあって、それは本年度まで継続してやるということだったんですが、こういったものとですね、関連というか、連携して行うような動きはあるんでしょうか。それとも全く別の事業としてやってあるんでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 今、ご質問のところですが、まず九州大学のほうの今共同で研究をやっており場所は、中間報告的なものはあっております。認知症と運動との関係とか、そういう途中経過が出ているものはですね、考慮しまして特別会計のほうに出てきます事業計画のほうに考慮したといいますか、その辺は考慮して入れていますけれども、直接の連携は今のところまだ具体的にどういう事業に展開していこうかというところまでは、まだ本年度が終わってからということになりますので、次の計画に入ってくると思います。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 次の計画というのは、次回のその計画を立てるときにその九大のその結果を参考にするということですか。

○委員長（門田直樹委員） 高齢者支援課長。

○高齢者支援課長（平田良富） 今、第5期ですので、平成24年、平成25年、平成26年と、平成

27年からと、6期ということになるんですけども、取り入れられるものは介護予防事業ですので、予防事業の中に計画が入ってなくてもですね、取り入れられるものは入れていこうという考えはございます。具体的には6期の中にきちっと組み込むということになると思います。

以上でございます。

○委員長（門田直樹委員） 渡邊委員。

○委員（渡邊美穂委員） 要望なんですけども、やはり九州大学に2年間相当な額をかけてやっていますし、ここは何か株式会社のほうに計画を策定をされているんですけども、できればやはり時期を合わせてですね、効果的にその計画、介護予防だけだからとかということじゃなくて総合的に判断できるような体制づくりの上で計画を策定されたほうが、より効率的ではないかなというふうに、これは私の私見ですけれども思いますので、次回その計画策定の際にはちょっとその部分も考慮していただきたいと思います。これは要望です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほかにごいませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第4号「平成23年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第4号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時25分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 認定第5号 平成23年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第5、認定第5号「平成23年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題といたします。

370ページ、1款県支出金から入ります。

質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2 款財産収入、ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 3 款繰入金についてありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 4 款繰越金、ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 5 款償還金、ページは373ページ、もう最後までですが、質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 歳出に入ります。

374ページ、1 款総務費について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 2 款公債費についてありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 3 款基金積立金についてございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、以上で歳入歳出の質疑は終わりました。

次に、376ページ、実質収支に関する調書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑は終わります。

それでは、再度、歳入歳出全般について総括的な質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑を終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第5号「平成23年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第5号については認定すべきものと決定しました。

〈認定 賛成17名、反対0名 午前10時27分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

〜〜〜〜〜〜〜〜 ○ 〜〜〜〜〜〜〜〜〜

日程第6 認定第6号 平成23年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第6、認定第6号「平成23年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題といたします。

1ページ、よろしいですか。

平成23年度太宰府市水道事業報告書の概況から入ります。

質疑はありませんか。

藤井委員。

○委員（藤井雅之委員） どこで水道事業のところで聞くか、ちょっと迷いましたけれども、事業の報告ということですのでこちらでお聞きいたしますけれども、審査資料の45ページの下段のところですね。でお聞きする形になると思いますが、昨年の決算委員会の際にも質問いたしました市内の水道管の耐震化の状況ですね。前年度と比較して1.6%という伸び率、今回資料で出していただきましたけれども、この伸び率については現状担当課としてどのように認識されておられますでしょうか。

○委員長（門田直樹委員） 施設課長。

○施設課長（加藤常道） 今、大佐野から松川のほうに第6次拡張事業で水を持ってきております。それが一応耐震事業で占めております。それと、あと老朽管ですね。それも今現在耐震で今進めております。そういう関係で、今後も老朽管を更新をやってですね、耐震化に進めていきたいと考えております。

以上です。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

それでは、ページ単位で行きたいと思いますので、2ページ。2ページは1ページの続きですが、3ページにかけて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次、開いていただいて、見開きの4ページ、5ページ、工事について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 次、6ページ、7ページ、業務に関して質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） この6ページの真ん中辺に供給単価出ておりますが、m<sup>3</sup>当たり214.05円、これが一般的な家庭の単価ですかね、まず。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（松本芳生） この単価はですね、左に計算式がありますように給水収益の全額を有収水量で割った単価となります。ですから、一般家庭も企業も全て入った単価、これが全国

的な統計上の単価というふうになっております。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） 家庭の単価は幾らなんですか。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（松本芳生） これは家庭用の単価として特別に計算したものはないんですけども、当然これ企業が入っておりますので、恐らく10円なり、20円なり、これから下がってくるというふうには思っております。基本的にですね、20m<sup>3</sup>当たりの料金が水道料金は3,790円ですので、それで割りますと190円程度になるというふうになっております。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） 一般的にですね、市民の方々からやはり上水道の単価が高いということで、もういつも言われることなんですけど、昨年でしたか、市長は平成24年度で下げると言ったんですかね。金額を下げているんでしょう、単価はそのままね。それはそれでいいんですが、どうしても市民から高いというのを聞かれることもございまして、私も説明がしにくいところがあるんですが、それでですね、県下28市ありますが、順番からいうと何番目ぐらいに高いのかなと、それをまず聞きたかったのですが。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（松本芳生） 県内にですね、水道事業を起こしている団体が54団体あるんですね。そのうちの今の20m<sup>3</sup>当たりでいいますと上位から23番目と、大体真ん中あたりに位置しております。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。よろしいですか。

○委員（上 疆委員） はい、わかりました。

○委員長（門田直樹委員） ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 続きます。

8ページ、9ページ、会計に関して質疑はありませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

それでは、10ページ、11ページ、決算報告書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、12ページ、13ページ、資本金収入及び支出に関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

それでは、14ページ、損益計算書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 15ページの剰余金計算書について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 16ページの剰余金処分計算書（案）について質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 17ページ、貸借対照表について質疑はございませんか。

上委員。

○委員（上 疆委員） この貸借対照表の関係ですが、18ページのところで見ますと利益剰余金の総計がですね、10億3,400万円程度あるわけですが、非常に黒字経営というふうに、この表ではですね、見えるところなんで、やはり先ほどの給水単価といいますか、家庭の単価についてですね、少しずつ下げていってはおられるようですけども、こういった10億円からの剰余金があるということですので、できるだけですね、先ほど23番目と言われましたね。10番目ぐらい、順番逆、下から10番目ぐらいになるようにですね、できるだけ給水単価が下がるように努力をしていただければと思いますので、よろしくお願いします。これは回答要りません。

○委員長（門田直樹委員） いいですか。

ほか、よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

18ページは、貸方のほうですね。続きですが、よろしいでしょうか、18ページ。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、19ページ、収益費用明細書について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 明細書の続きは20ページ、21ページ、よろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 続きまして、22ページ、23ページまでですが、質疑はありませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、24ページ、資本的収支明細書、これは資本ですね。24ページ、25ページについて質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、26ページの固定資産明細書について質疑はありませんでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 27ページの企業債明細書について質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、28ページもその続きになりますね、28ページまで全体について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、水道事業全体について質疑はありませんか。  
よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑は終わります。  
これから討論を行います。  
討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。  
採決を行います。

認定第6号「平成23年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、剰余金の処分について原案可決し、決算について認定することに賛成の方は挙手願います。

（全員挙手）

○委員長（門田直樹委員） 全員挙手であります。

よって、認定第6号については原案可決及び認定すべきものと決定しました。

〈原案可決及び認定 賛成17名、反対0名 午前10時36分〉

○委員長（門田直樹委員） 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第7号 平成23年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（門田直樹委員） 日程第7、認定第7号「平成23年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題といたします。

1ページ、平成23年度太宰府市下水道事業報告書の概況から入ります。

ページ単位でいきたいと思いますが、1ページ、2ページに関して質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

3ページ、4ページについて質疑はございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 5ページ、業務に関して質疑はありませんか。5ページ、6ページですね。

上委員。

○委員（上 疆委員） 上水道と同じような質問になりますが、この使用料単価は先ほど説明がありましたように有収水量分の下水道使用料ということですが、これ下水道が一番低い単価、

先ほど2,000㎡の幾らとかというのがありましたが、下水道の場合はまずその家庭用の単価というのはこの184.44円というわけじゃないわけですね、やはり。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（松本芳生） 水道事業と同じように企業も入った単価になっていますので、若干違ってまいります。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） 同じ質問です。家庭ですと幾らでしたかね。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（松本芳生） 先ほどと同じように20㎡で算出いたしますと、162.75円というふうになってまいります。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） また、同じですけども、これが県下何番目かわかりませんが、28市の中でどのぐらいの値段になっているんですか。下水道そのものはそう恐らく高さというのはないかもしれませんが、わかれば。

○委員長（門田直樹委員） 上下水道課長。

○上下水道課長（松本芳生） この下水道使用料につきましてはですね、総務省の指導ということがありまして、大体20㎡当たり3,000円は徴収するのが適当であるという指針がございます。太宰府の場合は税込みで3,255円になっております。県下でいいますと36団体ありまして、そのうちの上位から19番目ということで、これもほぼ真ん中程度というふうになっております。

○委員長（門田直樹委員） 上委員。

○委員（上 疆委員） わかりました。結構です。

○委員長（門田直樹委員） よろしいですか。

ほかにございませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、5ページ、6ページまでもう一緒ですが、質疑はよろしいでしょうか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 7ページ、よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、8ページ、会計に関して質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 9ページのその他ですね。質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、10ページ、11ページの決算報告書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 12ページ、13ページ、質疑はありますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 14ページ、損益計算書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 15ページの剰余金計算書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 16ページ、剰余金処分計算書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 17ページ、18ページの貸借対照表について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 19ページ、収益費用明細書、ずっと続いて21ページまでですね、に関して質疑はありませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 進みます。

22ページ、資本的収支明細書、23ページまでですが、質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、24ページ、固定資産明細書に関して質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） それでは、25ページ、企業債明細書について質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） ずっと続きます。27ページまでですかね。最後までですね、に関して質疑はありませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 全体について質疑はありませんか。

よろしいですか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） 以上で質疑は終わります。

これから討論を行います。

討論はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（門田直樹委員） これで討論を終わります。

採決を行います。

認定第7号「平成23年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、剰余金の処分について原案可決し、決算について認定することに賛成の方は挙手願います。

(全員挙手)

○委員長(門田直樹委員) 全員挙手であります。

よって、認定第7号については原案可決及び認定すべきものと決定しました。

〈原案可決及び認定 賛成17名、反対0名 午前10時41分〉

○委員長(門田直樹委員) 以上、本会議において報告します。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(門田直樹委員) 以上で決算特別委員会に付託されました案件の審査は全て終了しました。

ここでお諮りします。

本会議における決算特別委員会の審査報告は、当委員会が全議員で構成され、具体的な審査内容については後日会議録が作成されることから、要約報告とし、内容につきましては委員長にご一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(門田直樹委員) 異議なしと認め、委員長に一任することに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長(門田直樹委員) これをもちまして決算特別委員会を閉会いたします。

ご協力ありがとうございました。

閉会 午前10時42分

~~~~~ ○ ~~~~~

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためここに署名します。

平成24年11月20日

太宰府市決算特別委員会委員長 門 田 直 樹